

【自然体験活動（林間学校）】での活用事例 （中学校第2学年）

【活用した資料】

- 中学校版「心みつめて」p.24 第一章「ものの種…」日野 草城
p.25 第一章「述懐」新島 襄
p.144～p.145 第三章「感動する心や畏敬の念をもち続けたい」

【学習指導要領に示されている道徳の内容】

- 3-1「生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。」
- 3-2「自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。」

○ 事前学習で、「生命」や「自然」について考えるきっかけとして…

林間学校で行う「農業体験」「自然体験（トレッキング、ラフティング）」の事前学習において、「心みつめて」第一章（p.24）日野草城の「ものの種…」の言葉を取り上げました。日野草城の言葉に込められた生命に対する感動と尊敬の気持ちを生徒に捉えさせ、農業体験においても生命についても考えることができるようにしました。さらに、第一章（p.25）新島襄の「述懐」の言葉を紹介し、自然の美しさや雄大さに思いを馳せられるようにしました。

また、「心みつめて」第三章（p.144～p.145）「感動する心や畏敬の念をもち続けたい」を併せて活用し、自然とどのようにかかわっていけばよいのかを考えさせました。

○ 事後学習では、体験を通して感じたことや考えたことをまとめるために…

林間学校での体験を通して「生命」や「自然」について考えたことをまとめさせるために、「心みつめて」第三章（p.144）「感動する心や畏敬の念をもち続けたい」を活用しました。事前学習で取り上げた日野草城と新島襄の言葉をもう一度読ませ、自らの体験と結び付けさせてから、「自然の美しさに感動したことや、人間の力を超えたものを感じたことについて文や絵でかいてみよう！」の欄に書き込ませました。

生徒たちは、「農業体験」や「自然体験」を通して「生命」や「自然」について感じたことや考えたことを、具体的にまとめることができました。